

# しばた

あわせ

ばとんた

ゆみなく

発行

しばた正彦後援会  
〒820-0602  
九郎丸661-12  
Tel 080-  
4316-2581



桂川町  
総合体育館

大将陣公園



## 大将陣公園横に計画されている産業廃棄物処理施設(産廃施設)について

『議会だより』には、簡単にしか書けませんでしたが、詳しく報告します。

柴田：6月議会で、原中議員が「この施設は中間処理施設なのか最終処分場なのか」と質問されました。保健環境課長は「中間処理施設と聞いています」と言われました。

しかし、産廃業者が、地元の方に、最終処分場の可能性もある、と説明しているようです。お聞きになっていますか。

町長・課長：聞いていません。

飯塚市・嘉麻市での産廃問題

柴田：かつて、飯塚市や嘉麻市では、産廃施設があったために、また、あるために、地元が非常に迷惑したという話を聞きます。

どのような産廃問題が起きたのでしょうか。また、現在、どのような問題が起きていますか。

町長：飯塚市の内住地区で、産業廃棄物が埋め立てられ、汚水が流れ出し、流域の健康被害につながるのではないかと懸念から、県も一緒になって廃棄物を取り除いたということが大きな課題だったと思います。

嘉麻市大隈では、ごみを規定以上に積み重ね、そこに火が入り、消し止めるまでに時間がかかった。そこから流出した汚水が隣の川に流れ出し、流域全体の健康被害が心配されたという大きな課題もありました。いずれにしても、「対岸の火事」ではなく、このような事案に学びながら、とりくんでいく必要があります。

ある。そのように認識しています。

【飯塚市の内住地区の産廃施設は最終処分場、嘉麻市大隈の産廃施設は中間処理施設でした。いずれにしても、問題がおきました。なお、現在も住民の反対運動が行われている嘉麻市熊ヶ畑の産廃施設は最終処分場です】

柴田：町が業者に協力して施設をつくろうとしているのでは、と考えられた方もいらっしゃるかもしれませんが、そのような意図はありませんよ。

町長：町として、産業廃棄物処理業者に協力するということはありません。

(川上議員の質問に対する飯塚市片峯市長の答弁)

2023.6.28

市長：質問者も御承知のとおり、この当該地は、桂川

町にとりましてもスポーツ施設に隣接しているところでもあります。本市にとりましても、公園のすぐそばであり、そしてなおかつ、現在、高齢の方々の健康づくりのためのグラウンドゴルフ場を計画、設計している場所でもあります。

そういう場所でありますので、民間のすることは、いえ、私どもとしては、非常にゆゆしいものだということに話をしています。

ただ、部長も答えましたとおり、許可権者が県であり、そして当該地は桂川町です。しかしながら、隣接地である本市にも、これについて意見を述べる責任と権利がございますので、それをしっかりと踏まえながら、桂川町と情報共有をしっかりと図りながら、特に計画立ての段階で後手に回らないように、今後しっかりと対応していきたいと思っております。

柴田：片峯市長は、

「この当該地は、桂川町にとりましてスポーツ施設に隣接しているところであり、本市にとりまして、公園のすぐそばであり、そしてなおかつ、現在、高齢の方々の健康づくりのためのグラウンドゴルフ場を計画・設計している場所でもあります。」

「そういう場所であり、民間のすることは、いえ、私どもとしては、非常にゆゆしいものだ・・・」  
と言われている。

《ゆゆしい・・・そのまま放置しておく、後で問題が大きくなりそうで見過ごすことができない》

井上町長は、桂川町に産廃施設がつけられることを、どのようにお考えですか。

町長：片峯市長と同じ考えです。

柴田：産廃施設の予定地は、片峯市長が言われているよ

うに、子どもたちの遊ぶ大将陣公園のすぐ近く。ここは桜の名所でもあります。

・高齢者の健康づくりのためのグラウンドゴルフ場予定地です。

また、大将陣は史跡です。歴史の跡地。

・天文台も設置してあります。

桂川町にとっても、飯塚市にとっても、健康づくりの拠点であり、文化的活動の拠点です。

このことを業者の方がご存知だったら、この地に産廃施設をつくらうなんてしないはず。残念ながら、地元の方ではなかった。

いづれにしろ、健康づくりの拠点であり、文化的活動の拠点。そこを大型車が通り、産廃処理が行われる。貴重な自然環境と快適な生活環境を犯すことになる。

だから、片峯市長は「非

常にゆゆしいもの」と言われたのでしよう。

柴田：片峯市長は、

「当該地は桂川町です。しかしながら、隣接地である本市にも、これについて意見を述べる責任と権利がございますので、それをしっかりと踏まえながら、桂川町と情報共有をしっかりと図りながら、特に計画立ての段階で後手に回らないように、今後しっかりと対応していきたいと思っております」

と明確に述べられています。

現在、飯塚市との情報共有を実際に行われているんですか。

課長：飯塚の担当課長とは情報の共有を確認しています。

今後意見交換を実施していきたい。

柴田：片峯市長は「特に、計画立ての段階で後手に回らないように、今後対応し

たい」と述べられています。が、町長はいかがお考えですか。

町長：同じ考えです。私たちが知らないうちに、計画だけが先行するということが大いにありえると警戒しています。

柴田：議会・行政・町のみなさんとともに知恵を出し、情報交換してとりくんで行かなければなりません。みんなで行っていきましょう。

※一般質問を行った9月21日、片峯市長はご存命でした。



**後援会員募集** 年会費1,000円

後援会員のみなさんには、ひと月1回以上『しあわせばとん』をお届けしています。

『しあわせばとん』には、『後援会だより』には書きにくい趣味や日々のこと、本音などを書いています。

申し込みは柴田まで

080・4316・2581



### 町誌づくりは今？

3月議会の「行政報告並びに施政方針」の中で、井上町長は、

「以前から新たな町誌の編纂について必要性を感じていましたが、その時々々の社会情勢や本町の現状からして着手できないまま現在に至っています」

と唐突に述べられました。

しかし、新年度予算にもあがっていないので、議員や町のみなさんから意見も聴きながら、じっくり進められるのだろうと思っていました。

ところが、4月の人事異動の中で、企画財政課の中に2名の職員が「調査編さん準備係」として配置されています。

本来、新年度予算で提起し、丁寧に進めていくべきところですが、  
**柴田**：今、町誌をつくらなければならぬ必要性をわかりやすく教えてください。

**町長**：町誌発行から55年以上が経過しています。町誌は町の歴史でもあるので継続性を保つ必要性があります。(略)

ぜひとも、この時代にとりくんでいく必要があるとの考えです。

**柴田**：私は、町誌や市誌をよく読んできました。データの必要性は5年前から言っています。しかし、それを冊子にする必要があるのか。データとして整理・保存しておけない。(略)

**柴田**：令和4年度決算資料の「主要施策の成果に関する説明書」には「老朽化」の記述が何か所も出てきます。当然、町長は読まれているでしょう。

この施設老朽化の課題はどうするんですか。莫大なお金がかかるんですよ。

学校建設、水道施設を含め、老朽化している施設の統合・再建・新設よりも、町誌づくりが優先される理

由がわかりません。

**町長**：各施設の老朽化の対応も必要です。しかし、そういうものが要だから、町誌はいらぬということにはなりません。

私は、これまでの仕事の中で、あるいは町を知るといって、町誌が非常に役に立ったという記憶があります。そういったことを後世の方たちに伝えていく。それは私どもの使命であると考えていますので、ぜひ、とりくませてほしいと思います。

町誌を作る必要があると言われる井上町長。

一方、データは必要だが、町誌にまでする必要はない。老朽化している学校や水道施設をつくって、余裕ができれば町誌にしたらいい、という柴田。

この繰り返しでした。

### 柴田の発言

次のようなことも述べま

した。  
○データだけ集め、次の町長、次の議員にまかせませんか。

○首長と議会は2元代表制と言われます。そして、議会の最も重要な仕事の一つは、予算や施策のチェックです。町誌について議員の意見も全く聞かれていない中で、町誌づくりが、当然のようにどんどん進められている。非常に違和感があります。

○町長が辞められた後、私が辞めたあと、一緒につくりませんか。(ボランティアで)

ほんの一部しか紹介できていません。ぜひ、議会の録画【桂川町HP（ホームページ）】↓桂川町議会↓議会録画中継↓令和5年↓9月21日（木）本会議↓20時から】を見てください。また、HPには会議録もあります。

井上町長の言われていることも、おわかりになると

思います。

もし、私が議員になっていなかったら、町誌づくりに賛成してははずです。しかし、学校建設は話し合いますら全く始まっていません。私は学校建設などが先だと思っています。

### 補正予算 5対4 賛成多数

補正予算の質疑の中で、近隣市では市誌編さんに1億円かかったとの答弁もあっていました。

また、補正予算には「町誌編さん計画策定支援業務委託費」があがっていました。だから、採決前には反対意見を述べ、最後に、「総務経済建設委員会の閉会中審査のテーマは『道路管理』ですよ。桂川町の道路はともひどい。お金がないからです。そのことを一番ご存知のはずの総務経済建設委員のみなさんは、道路の前に町誌が必要だとは思われないう」

と述べましたが、

賛成：青柳、竹本、下川、

北原、杉村

反対：原中、吉川、大塚、

柴田

(敬称略)

あと二人、反対があれば・・・。  
だが、どのような発言  
をしているのか、また、だ  
れが発言をしていないのか、  
ぜひ見てください。(桂川  
町HP ↓ ↓ ↓ 3...26か  
ら)

これまで「検討する」な  
ど言われたことへの回答は？

① 移住定住政策のためのワー  
キンググループをつくっ  
ていく。

② 桂川敬老健康チケットの  
作成を進める。

③ 県立嘉穂総合高校との連  
携を進める。

①と②は、遅れているの  
ですが、「これからします」  
との回答がありました。

③は、「新しい施策でど  
りくみたい」との回答があ  
りました。



お願い

みなさんから、ハガキや  
手紙等で質問や意見をいた  
だいています。お答えする  
ようにしているのですが、  
連絡先がわからないために  
返事を出せないことがあり  
ます。

ぜひ、連絡先を明記して  
ください。お願いいたしま  
す。

コロナに罹(かか)って

10月中旬に、コロナに罹っ  
てしまいました。熱は2日  
間で下がったのですが、喉  
の痛みが1週間以上続きま  
した。痛みも引いて、動き  
始めましたが、身体がふら

ふらして疲れやすい。結局、  
2週間近く活動できません  
でした。

71歳。当たり前だけど、  
もう若くはないですね。  
コロナのために、『後援  
会だより』の発刊も遅れて  
しまいました。

『後援会だより』は、今  
まで、1年に4回発行して  
配っていました。少し減  
らそうかと考えています。  
減らした分、HPや『しあ  
わせばとん』の充実を行う。  
また、SNSを始めてみよ  
うかとも考えています。

私のHPもごらん下さい。  
「桂川町議会議員 しばた  
正彦」と入れれば出てきま  
す。QRコードからも入れ  
ます。



あっち こっち どっち？

- 11月 6日 (月) 文教厚生委員会 (香春町)  
奨学金制度についての研修、義務教育学校の視察
- 8日 (水) 文教厚生委員会 (給食センターの視察)
- 9日 (木) タブレット検討委員会
- 14日 (火) 全員協議会
- 20日 (月) 文教厚生委員会 (桂川中学校の視察)
- 30日 (木) 議会運営委員会
- 12月 7日 (木) 本会議
- 8日 (金) 常任委員会
- 11日 (月) 常任委員会
- 13日 (水) 常任委員会・議会運営委員会
- 14日 (木) 本会議 (一般質問)
- 15日 (金) 本会議 (一般質問)



\*あなたが一票を入れた議員が、  
どんな質問をしているのか、ぜひ確かめてください。